款	消防費	項	消防費	事業区分	新規	拡大	継続

（単位：千円）

事業名	消防団車庫整備事業
施策の大綱	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり

予算額	特定財源			一般財源	予算の概要
	国県支出金	地方債	その他		
22,000		21,900		100	・役務費 3 ・工事請負費 21,995 ・負担金補助及び交付金 2

【事業の目的】

消防団の防災活動拠点である消防団車庫の整備をすることにより，消防団の活性化と消防団員の士気高揚を図ります。

【事業の概要】

第34分団（下坂田）の既存の車庫を解体し，新たに建物を整備します。

《新築建物の概要》

対象分団：第34分団（下坂田）昭和41年建築		
土地	予定地	土浦市下坂田474-1
	所有者	土浦市
	地目	宅　地
	地籍	590.92㎡（下坂田農村集落センターと共用）
家屋	構造等	軽量鉄骨造2階建
		1F 車庫・トイレ　2F 詰所
	床面積	62㎡程度

平成24年度建築　消防団車庫

【期待される効果】

老朽化した消防団車庫を計画的に更新整備することにより，消防体制の充実を図り，安心・安全なまちづくりに寄与します。

款	消防費	項	消防費	事業区分	新規	拡大	継続

（単位：千円）

事業名	常備消防車両更新事業
施策の大綱	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり

予算額	特定財源			一般財源	予算の概要
	国県支出金	地方債	その他		
51,900	5,776	41,600		4,524	・旅費 162 ・役務費 133 ・備品購入費 51,523 ・公課費 82

【事業の目的】

長年の使用により性能が劣化している消防車両を更新整備し，消防力の基幹である消防車両の活動能力を維持します。

また，今後起こり得る大災害を想定し，緊急消防援助隊登録車両を整備します。

人員搬送車

高規格救急自動車

【事業の概要】

平成26年度購入車両

(1)人員搬送車　　(11,880千円)　荒川沖消防署

緊急消防援助隊登録：20人乗り　マイクロバス

(2)高規格救急自動車　(38,833千円)　神立消防署

【期待される効果】

消防力の基幹である消防車両を更新整備することにより，消防体制の充実を図り，安心・安全なまちづくりに寄与します。

款	消防費	項	消防費	事業区分	新規	拡大	継続

（単位：千円）

事業名	消防救急無線のデジタル化等共同整備事業
施策の大綱	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり

予算額	特定財源			一般財源	予算の概要
	国県支出金	地方債	その他		
192,920		192,200	720		・負担金補助及び交付金 192,920

【事業の目的】

電波法関係法令の改正により，平成28年5月末日までに消防救急無線機器をデジタル化方式に移行する必要があります。この消防救急無線デジタル化整備費用の削減を図るために，県内の消防本部が共同で無線機器を整備します。

併せて，共同指令センターを整備し，119番通報の集約と出場体制の増強を図り，大規模広域災害に強い指令体制を構築し，消防救急業務の充実強化を目指します。

【事業の概要】

(1)デジタル化無線整備事業

県内21消防本部（34市町）

整備内容：　基地局30局　移動局560局

※土浦市　《基地局1局　移動局35局》

(2)共同指令センター整備事業

県内20消防本部（33市町）

設置場所：　水戸市内原町1395番地の1　水戸市役所内原庁舎

配置人員：　56人　《土浦市4人派遣》

整備内容：　指令台 9台　指揮台 1台

共同指令センター
イメージ写真

【期待される効果】

消防力の基幹である消防施設，通信機器を整備することにより，消防体制の充実を図り，安心・安全なまちづくりに寄与します。

款	消防費	項	消防費	事業区分	新規	拡大	継続

（単位：千円）

事業名	新消防庁舎整備事業　≪合併特例債事業≫
施策の大綱	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり

予算額	特定財源			一般財源	予算の概要
	国県支出金	地方債	その他		
1,293,325		1,228,600		64,725	・工事請負費 1,132,742 ・公有財産購入費 136,819 ・委託料 22,076 ・役務費等 1,688

【事業の目的】

現在の消防庁舎は，昭和41年に竣工して以来48年が経過し，老朽化・狭あい化が顕著になっているため，多種多様化する災害に対応できる消防拠点として新消防庁舎を建設します。

【事業の概要】

◎　新消防庁舎敷地土地造成工事
◎　新消防庁舎建設工事（平成26年～平成27年度継続費）
◎　新消防庁舎敷地用地買戻し

新消防庁舎イメージ図

【期待される効果】

消防力の基幹である消防庁舎を，災害活動拠点・訓練活動拠点・市民啓発拠点・情報発信拠点の機能を持つ新消防庁舎に建て替えることにより，消防体制の充実を図り，安心・安全なまちづくりに寄与します。

款	消防費	項	消防費	事業区分	新規	拡大	継続

（単位：千円）

事業名	緊急消防援助隊支援資機材整備事業
施策の大綱	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり

予算額	特定財源			一般財源	予算の概要
	国県支出金	地方債	その他		
4,320	2,013		2,307		・備品購入費 4,320

【事業の目的】

東日本大震災等の大災害発生時には，茨城県下の消防本部合同で緊急消防援助隊を組織し，被災地に派遣します。
今後起こり得る大災害を想定し，緊急消防援助隊の活動強化を目的として，野営等に必要な資機材を整備します。

【事業の概要】

緊急消防援助隊支援資機材購入　4,320千円

《内　容》

- エアーテント
- 折りたたみ式ベッド
- 寝袋
- 簡易トイレ
- 屋外用冷暖房装置
- 発電機，バッテリーユニット　他

野営活動の様子

【期待される効果】

緊急消防援助隊設備を充実させることにより，広域的な消防活動，災害支援の強化に寄与します。

款	教育費	項	教育総務費	事業区分	新規	拡大	継続

（単位：千円）

事業名	「小中一貫教育」推進事業
施策の大綱	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と，子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり

予算額	特定財源			一般財源	予算の概要
	国県支出金	地方債	その他		
18,500				18,500	・報酬 10,136 ・委託料 4,785 ・備品購入費 3,348 ・使用料及び賃借料等 231

【事業の目的】

小・中学校を貫く学びの連続性の中で，学校が主体性や創意工夫に努め，児童生徒の発達段階を考慮しながら，心豊かに個性を発揮できるたくましい子どもの育成を図ります。

【事業の概要】

◎ 土浦市小中一貫教育運営協議会及び推進主任会を開催します。

◎ 小中一貫教育の実施状況を保護者や地域に向けて広報します。

◎ 市内全中学校区に1人ずつ小中一貫教育推進補助員を配置し，教職員の連携を補助することにより小中一貫教育の推進を図ります。

◎ 情報教育サポーターを配置し，ＩＣＴ機器の活用による効果的な授業を推進し，学校間の連携の強化を図ります。

◎ デジタル教科書を導入し，児童生徒の興味･関心を喚起するとともに，表現力の育成にも力を入れていきます。

小中一貫教育推進主任等研修会の様子

【期待される効果】

義務教育9年間を通して，子どもたちの学力や心身の成長を意識した指導体制を採り，今まで以上に子どもたちの発達段階に合った指導を行うことができます。また，小・中学校の縦のつながりに加え，中学校区内地域の方々とのつながりの中で，思いやりのある児童生徒の育成が期待できます。

款	教育費	項	小学校費	事業区分	新規	拡大	継続

（単位：千円）

事業名	新しい学校づくり支援事業
施策の大綱	心の豊かさとたくましさをはぐくむ教育の推進と，子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり

予算額	特定財源			一般財源	予算の概要
	国県支出金	地方債	その他		
1,267				1,267	・報酬 1,267

【事業の目的】

児童のより良い教育環境を充実させる観点から，適正規模化を目指して統合された学校を支援するため，非常勤ＴＴ（チームティーチング）講師を加配し，教科指導や相談活動の充実を図ります。

【事業の概要】

平成26年4月から宍塚小学校が土浦小学校に統合されることに伴い，きめ細やかな学習指導及び宍塚地区の児童の心のケアを実現するため，土浦小学校に非常勤ＴＴ講師1人を配置します。

・業務内容

1クラス当たりの人数が多い学年の授業の学習支援

宍塚地区の児童の心のケア，相談活動

・勤務日数等　1日4時間，週5日勤務（年間175日）

【期待される効果】

宍塚地区の児童が安心して学校生活を送れるよう，支援することができます。また，児童が学習面や生活面，友達関係などの悩みがある時に迅速に対応することで，児童のより良い教育環境を充実させます。

款	教育費	項	小学校費	事業区分	新規	拡大	継続

（単位：千円）

事業名	小学校スクールバス運行委託事業
施策の大綱	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と，子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり

予算額	特定財源			一般財源	予算の概要
	国県支出金	地方債	その他		
20,780	2,516			18,264	・委託料 20,780

【事業の目的】

小学校の適正配置等の実施により，通学距離が遠距離になる児童への対応として，通学の安全確保などを図るため，小学校のスクールバスについて，運行指針及び運行管理規程を制定し，実施します。

【事業の概要】

○宍塚地区…8,380千円

全地区をスクールバス運行の対象とし，バス2台で運行します。また，運行ルートは矢作地区・飯田地区・佐野子地区と宍塚地区・粕毛地区の2ルートとします。

○虫掛地区…6,200千円

現在運行している路線バスのルートを，バス1台で運行します。

○都和地区（粟野・今泉・小山崎）…6,200千円

現行のとおり，バス1台で運行します。

※各小学校とも低学年と高学年では授業終了時間が異なることから，帰りは2便の運行とします。

【期待される効果】

遠距離通学をしている児童の通学手段及び安全確保が図られ，児童が安心して学校に登下校することができます。

款	教育費	項	小学校費	事業区分	新規	拡大	継続

（単位：千円）

事業名	土浦小学校校舎及び屋内運動場改築事業
施策の大綱	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と，子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり

予算額	特定財源			一般財源	予算の概要	
	国県支出金	地方債	その他			
345,000	69,960	220,000		55,040	・工事請負費 ・委託料 ・需用費 ・役務費等	341,378 3,338 185 99

【事業の目的】

老朽化が進んでいる土浦小学校の校舎及び屋内運動場の改築を行い，建物の耐震性・耐久性を確保し，施設整備による学習環境の改善を図ります。

【事業の概要】

平成24～25年度の2か年で新校舎・屋内運動場が完成しました。平成26年度は，既存校舎・屋内運動場の解体，グラウンド整備，正門・塀の整備を行います。

◎土浦小学校改築に伴う第2期解体工事
◎土浦小学校グラウンド整備工事
◎土浦小学校正門・塀整備工事

校舎外観

校舎内観

【期待される効果】

校舎及び屋内運動場の改築により，耐震性のある建物として児童の安心・安全な学校生活を確保するとともに，学習環境の向上に寄与します。

款	教育費	項	小学校費	事業区分	新規	拡大	継続

（単位：千円）

事業名	都和小学校校舎改築事業
施策の大綱	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と，子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり

予算額	特定財源			一般財源	予算の概要	
	国県支出金	地方債	その他			
285,000	28,194	193,600		63,206	・工事請負費 ・委託料 ・役務費等	278,385 6,132 483

【事業の目的】

老朽化が進んでいる都和小学校校舎の改築を行い，建物の耐震性・耐久性の確保し，施設整備による学習環境の改善を図ります。

【事業の概要】

児童，教師へのアンケートやワークショップの意見などを踏まえて策定した基本設計・実施設計を基に，教育環境の向上や地域の特性を生かした新たな学校づくりに向けての改築工事を平成26～27年度の2か年で行います。

◎都和小学校校舎改築工事

完成予想図
（昇降口内観）

完成予想図
（北側外観）

【期待される効果】

校舎の改築により，安心・安全な建物にすることができ，また，学習環境の向上に寄与します。

款	教育費	項	小学校費	事業区分	新規	拡大	継続

（単位：千円）

事業名	第二小学校屋内運動場改築事業
施策の大綱	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と，子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり

予算額	特定財源			一般財源	予算の概要
	国県支出金	地方債	その他		
114,000	21,597	75,400		17,003	・工事請負費 110,845 ・委託料 2,924 ・役務費 231

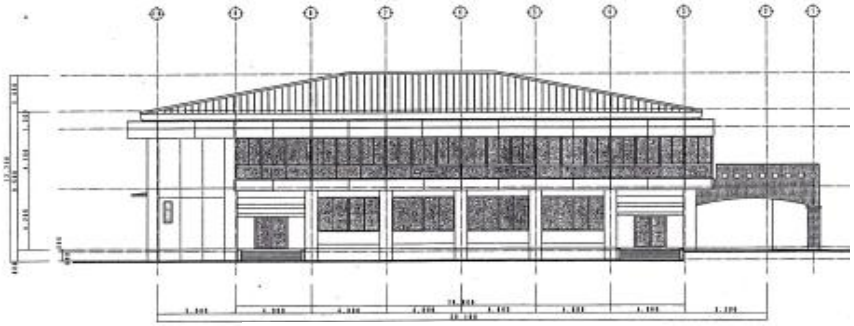
【事業の目的】

老朽化が進んでいる第二小学校屋内運動場の改築を行い，非常災害時にも避難場所に指定されている建物の耐震性・耐久性を確保するとともに，施設整備による学習環境の改善を図ります。

【事業の概要】

平成25年度に行った実施設計を基に，教育環境の向上や災害時の避難場所の拠点となる新たな学校づくりに向けての改築工事を平成26～27年度の2か年で行います。

◎第二小学校屋内運動場改築工事



第二小学校屋内運動場
計画立面図

現在の第二小学校屋内運動

【期待される効果】

屋内運動場の改築により，安心・安全な建物にすることができ，また，学習環境の向上に寄与します。

款	教育費	項	小学校費・中学校費・幼稚園費	事業区分	新規	拡大	継続

（単位：千円）

事業名	小学校・中学校・幼稚園施設耐震化事業
施策の大綱	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と，子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり

予算額	特定財源			一般財源	予算の概要
	国県支出金	地方債	その他		
961,330	329,672	461,300		170,358	・工事請負費 913,789 ・委託料 47,541

【事業の目的】

学校建物は，児童・生徒が多くの時間を過ごす場所であるとともに，非常災害時には地域住民の避難場所ともなることから，計画的に耐震診断を進めてきました。耐震診断の結果に基づき，計画的に耐震化の必要がある建物の耐震補強工事などを行い，学校建物の安全性等を確保するものです。

【事業の概要】

平成26年度は，以下の小学校，中学校，幼稚園の耐震補強実施設計及び工事を行います。

＜耐震補強工事＞

◎下高津小学校校舎耐震補強及び大規模改造工事

◎荒川沖小学校校舎耐震補強及び大規模改造工事

◎右籾小学校校舎耐震補強及び大規模改造工事

◎大岩田幼稚園園舎耐震補強及び大規模改造工事

＜実施設計＞

◎土浦第一中学校特別教室

◎土浦第五中学校校舎

土浦第四学校校舎棟耐震補強工事
（平成25年度完成）

第二小学校校舎棟耐震補強工事

【期待される効果】

耐震性のある建物として児童生徒の安心・安全な学校生活を確保するとともに，学習環境の向上に寄与します。

款	教育費	項	小学校費・中学校費	事業区分	(新規)	拡大	継続

（単位：千円）

事業名	小学校・中学校施設非構造部耐震化事業
施策の大綱	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と，子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり

予算額	特定財源			一般財源	予算の概要
	国県支出金	地方債	その他		
25,800				25,800	・委託料 25,800

【事業の目的】

東日本大震災の被害状況を受け，児童生徒等の安全確保のため，屋内運動場の天井材や内外装材の落下防止等対策を推進します。

【事業の概要】

吊り天井である小・中学校の屋内運動場10校を調査し，天井撤去のための実施設計を行います。

◎神立小，都和南小，乙戸小
　小学校非構造部耐震化調査業務委託
　小学校非構造部耐震化実施設計業務委託

◎一中，二中，三中，四中，五中，六中，都和中
　中学校非構造部耐震化調査業務委託
　中学校非構造部耐震化実施設計業務委託

都和南小学校屋内運動場

【期待される効果】

落下防止等の対策により，耐震性のある建物として児童生徒の安心・安全な学校生活を確保するとともに，学習環境の向上に寄与します。

款	教育費	項	小学校費・中学校費	事業区分	(新規)	拡大	継続

（単位：千円）

事業名	新治地区小中一貫教育学校整備事業
施策の大綱	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と，子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり

予算額	特定財源			一般財源	予算の概要
	国県支出金	地方債	その他		
27,500				27,500	・委託料 26,954 ・報償費等 546

【事業の目的】

藤沢小，斗利出小，山ノ荘小の3小学校を1校に統合し，新治地区(新治中学校内に予定)に土浦市初の施設一体型の小中一貫校を整備します。

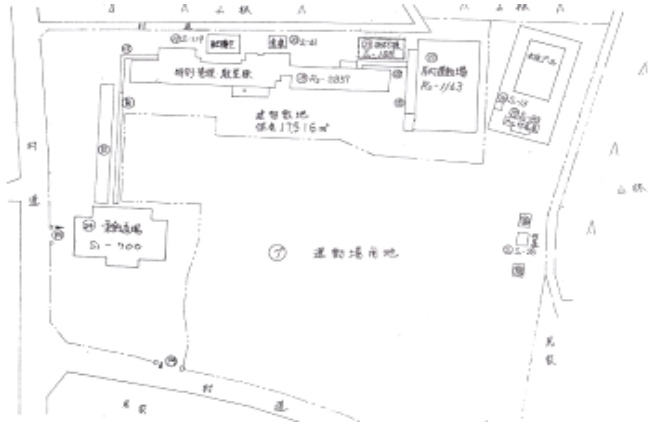
事業の推進にあたっては，基本計画策定等の協議機関を設置し，地元の意向を反映させながら進めていきます。

【事業の概要】

基本計画を基に平成26年度から平成27年度の2か年で小学校校舎の新築，既存中学校校舎及び屋内運動場の改修，グラウンド，プールの改修等の基本・実施設計を行います。

◎新治地区小中一貫教育学校整備
基本・実施設計業務委託

現在の新治中学校全景



現在の新治中学校配置図

【期待される効果】

施設一体型の小中一貫校が整備されることにより，小中一貫教育の推進に寄与します。

款	教育費	項	小学校費・中学校費	事業区分	新規	拡大	継続

（単位：千円）

事業名	学校ＩＴ推進事業
施策の大綱	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と，子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり

予算額	特定財源			一般財源	予算の概要
	国県支出金	地方債	その他		
16,890				16,890	・使用料及び賃借料 16,890

【事業の目的】

児童生徒のコンピュータを活用した授業推進を図るため，小中学校のパソコン教室等のコンピュータ機器を整備します。

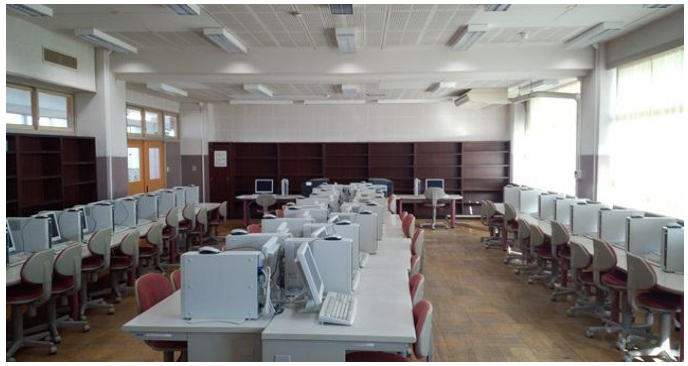
【事業の概要】

◎市内小中学校コンピュータ教室及び普通教室用コンピュータ機器のリース期間満了に伴う更新

平成21年度に整備した小学校6校（土浦小，下高津小，中村小，藤沢小，斗利出小，山ノ荘小）及び中学校7校（土浦一中，土浦二中，土浦三中，土浦四中，土浦五中，土浦六中，都和中）のＰＣ教室のリース期間満了に伴い更新するものです。

（千円）

	パソコン台数	使用料及び賃借料
小学校	281	7,540
中学校	393	9,350
合計	674	16,890



中村小学校パソコン教室

【期待される効果】

・ 1人1台のコンピュータ配備で，タイピングやソフトの操作など，基本操作の習熟が期待できます。
・ コンピュータで扱われる情報の特性を学ぶとともに，情報リテラシーを高める学習活動を行うことができます。
・ 情報収集活動の成果をまとめた新聞作り等，ＩＣＴを活用した作品づくりができます。
・ 調べ学習のときにインターネットを使って，多用な情報収集ができます。

款	教育費	項	社会教育費	事業区分	新規	拡大	継続

（単位：千円）

事業名	教育普及事業
施策の大綱	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と，子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり

予算額	特定財源			一般財源	予算の概要	
	国県支出金	地方債	その他			
3,000			430	2,570	・報償費	310
					・旅費	120
					・需用費	1,262
					・役務費等	1,308

【事業の目的】

上高津貝塚ふるさと歴史の広場では,特別展を通じて，土浦の歴史・文化遺産の調査成果を広く公開することで，市民の生涯学習に対する要望に応えるとともに，教育普及事業の更なる充実を図ります。

【事業の概要】

・会　　期：平成26年10月～平成26年11月（予定）

・タイトル：第13回特別展「武者塚古墳とその時代（仮称）」

・内　　容：

上坂田にある武者塚古墳の資料を紹介します。武者塚古墳は，古代人の髪の毛である「みずら」の発見で知られていますが，この他の出土品も大変貴重なものです。展示では，武者塚古墳からみえる古代の地域社会の姿についても探っていきます。

武者塚古墳石室

武者塚古墳出土遺物

【期待される効果】

歴史・文化遺産を考古学的な視点で調査整理することにより，本市の文化財保護が図られ，また，展示や講座などの教育普及事業の充実に寄与します。発掘調査や研究などの成果を積極的に公開することで，来館者からの要望に応えるとともに，市民の埋蔵文化財への理解が深まることが期待されます。

款	教育費	項	社会教育費	事業区分	新規	拡大	継続

（単位：千円）

事業名	新図書館整備事業・美術品展示室整備事業　≪合併特例債事業≫
施策の大綱	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と，子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり

予算額	特定財源			一般財源	予算の概要
	国県支出金	地方債	その他		
65,700	32,850	31,100	150	1,600	・委託料　65,700

【事業の目的】

土浦駅前北地区市街地再開発事業の複合施設として，市民の暮らしと生涯にわたる学習活動の役に立ち，また，市民の交流拠点として集客や賑わいを創出する新しい図書館及び市民ギャラリーを整備します。

【事業の概要】

◎施設規模

新図書館	市民ギャラリー
約5,300㎡ （蔵書　約60万冊）	約940㎡

◎平成26年度の事業内容

実施設計業務委託

※新図書館と市民ギャラリーの実施設計を一括発注することにより，経費削減を図ります。

◎事業スケジュール

平成27年度　工事着工

平成28年度　整備工事

平成29年度　開館

完成イメージ

【期待される効果】

新図書館においては，だれもが快適で魅力的な読書空間をつくり，多様なニーズに応えることで，市民生活への支援と，生涯学習活動のより一層の拡大・充実を図ります。また，市民ギャラリーは，「市民に開かれた芸術文化活動の拠点」として，市民が芸術文化とふれあう機会を提供します。新図書館，市民ギャラリーと民間業務施設など施設全体が，相互に補完しあい，相乗効果として，大勢の市民に利用され，まちや人の交流，賑わいを生み出し，中心市街地の活性化に寄与します。

款	教育費	項	社会教育費	事業区分	新規	拡大	継続

（単位：千円）

事業名	市民演劇(オペラ)鑑賞事業
施策の大綱	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と，子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり

予算額	特定財源			一般財源	予算の概要
	国県支出金	地方債	その他		
1,000				1,000	・負担金補助及び交付金 1,000

【事業の目的】

オペラ「小町百年の恋」を小町とゆかりのある土浦で上演することにより，市民の文化意識の高揚を図ります。

【事業の概要】

市在住作家である佐賀純一氏原作の「小町百年の恋」～筑波山愛ものがたり～全3幕を茨城県民オペラ協会が上演します。本市は，開催に当たって，事業費の一部を補助します。

なお，今回も市内の児童・生徒，一般市民が村人役として出演し合唱します。また，前回は無料での公演でしたが，今回は有料での公演を予定しています。

「小町百年の恋」フィナーレの場面

【期待される効果】

多くの市民にオペラを鑑賞していただくことにより，オペラに関する理解・関心を高め，市民の文化意識の向上が期待できます。

款	教育費	項	保健体育費	事業区分	新規	拡大	継続

（単位：千円）

事業名	川口運動公園整備事業
施策の大綱	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と，子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり

予算額	特定財源			一般財源	予算の概要
	国県支出金	地方債	その他		
30,600	1,943	21,700		6,957	・委託料 30,600

【事業の目的】

老朽化及び狭あい化が著しい野球場の観覧席を増設します。また，平成24年度に耐震診断調査を実施した野球場管理棟の耐震補強を実施します。

【事業の概要】

平成26年度は，改修工事に向けた設計を行います。

・野球場観覧席改修基本・実施設計委託　26,713千円
・野球場管理棟耐震補強設計委託　3,887千円

◎整備スケジュール

平成26年度　：基本・実施設計
平成27年度～平成28年度：改修工事

野球場観覧席の状況
（高校野球茨城県大会）

【期待される効果】

観客の観戦環境の向上及び安心・安全な大会運営に寄与します。

款	教育費	項	保健体育費	事業区分	新規	拡大	継続

（単位：千円）

事業名	（仮称）荒川沖地区市民運動広場整備事業
施策の大綱	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と，子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり

予算額	特定財源			一般財源	予算の概要	
	国県支出金	地方債	その他			
573,023		425,100		147,923	・委託料	4,413
					・使用料及び賃借料	1,724
					・工事請負費	349,523
					・公有財産購入費	217,363

【事業の目的】

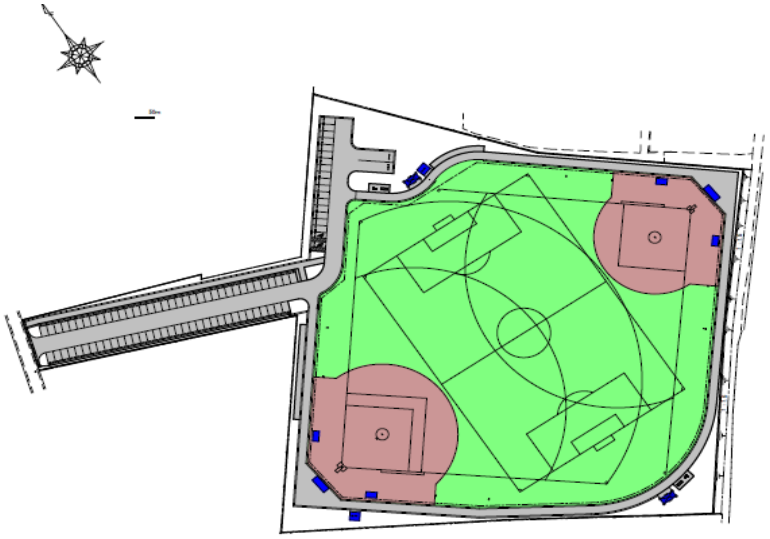
市の南部地区に多目的に利用できる運動広場を整備し，スポーツ・レクリエーション施設の充実を図ります。

【事業の概要】

◎施設の概要
- ・場　　所：土浦市中村西根及び乙戸地内
- ・面　　積：2.31ha
- ・多目的運動広場：サッカー場（天然芝）　1面（少年　2面）
  野　球　場（外野天然芝）　1面（少年　2面）
- ・トイレ：2棟
- ・駐車場：91台（うち身障者用2台，マイクロバス用2台）
- ・駐輪場：106台

◎事業費
- ・測量業務委託料　：　4,413千円
- ・土地賃貸借料　：　1,724千円
- ・整備工事費　：349,523千円
- ・土地開発基金からの買戻し：217,363千円

◎供用開始時期：平成27年9月（予定）
※平成27年4月から8月は，芝生養生期間。



（仮称）荒川沖地区市民運動広場

【期待される効果】

サッカーや野球等多目的に利用できる運動広場を整備することにより，市民の体力や競技力の向上及び健康の維持・増進に寄与します。

款	教育費	項	保健体育費	事業区分	新規	拡大	継続

（単位：千円）

事業名	水郷プール再整備事業
施策の大綱	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と，子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり

予算額	特定財源			一般財源	予算の概要
	国県支出金	地方債	その他		
391,192		277,100	114,092		・委託料 3,388 ・工事請負費 387,804

【事業の目的】

市民の健康の維持・増進及びスポーツ・レクリエーション施設の充実を図ることを目的に，現在地に規模を縮小し，屋外型の市民プールを整備します。

【事業の概要】

◎プール施設の概要

- ・流水プール　：延長　270.5m，幅　6.0m
- ・多目的プール　：25m×8コース
- ・ちびっ子プール　：376㎡
- ・直線スライダー　：延長　31.8m×3レーン
- ・チューブスライダー：延長　80.0m×1レーン，延長　50.0m×1レーン
- ・管理棟　：1棟（鉄骨造2階建て，延床面積898.53㎡）

◎供用開始時期　：平成28年7月（予定）

◎プール新設工事（平成26～27年度の2か年で継続費を設定）

	〔平成26年度〕	〔平成27年度〕	計
・整備事業費：	391,192千円	1,741,755千円	2,132,947千円

※実施設計は，平成26年3月20日完了予定。

水郷プール　イメージ図

【期待される効果】

新たに市民プールを整備することにより，市民の健康の維持・増進及びスポーツ・レクリエーション施設の充実を図ります。

款	災害復旧費	項	文教関係災害復旧費	事業区分	新規	拡大	(継続)

（単位：千円）

事業名	指定文化財等復旧事業
施策の大綱	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と，子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり

予算額	特定財源			一般財源	予算の概要
	国県支出金	地方債	その他		
21,382	10,691			10,691	・負担金補助及び交付金 21,382

【事業の目的】

東日本大震災によって被害を受けた文化財の修復工事を行い，貴重な文化財を本来の姿に戻すことにより，文化財の保護・保存に努めるとともに，その修復費用を助成して文化財所有者の負担を軽減することにより，郷土の誇る文化財を次の世代に継承していくことを目的としています。

【事業の概要】

東日本大震災により被害を受けた茨城県指定建造物「矢口家住宅」の修復工事に係る費用の一部を助成します。

なお，修復工事については，平成24年度から平成27年度の4か年で実施し，平成25年度からは，所有者の負担軽減を図るため，国の「社会資本整備総合交付金」を活用しています。

・平成24年度　元蔵解体修理
・平成25年度　元蔵・店蔵・袖蔵解体修理
・平成26年度　店蔵・袖蔵解体修理
・平成27年度　店蔵・袖蔵・米蔵外解体修理

○県指定建造物「矢口家住宅」
補助対象経費　128,291千円
県補助金　96,218千円（補助対象経費の3/4以内）
市補助金　21,382千円（補助対象経費から県補助金を除いた額の2/3以内）

茨城県指定建造物「矢口家住宅」

【期待される効果】

震災で被害を受けた指定文化財等の復旧工事を行い，貴重な文化財を元の状態に戻すことで文化財の保護と保存を図ります。また，文化財修復費用の助成を行い，文化財所有者の経費負担を軽減することにより，私たちの郷土に受け継がれてきた貴重な文化遺産を，次の世代へ引き継ぐことができます。